

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

発達相談等充実事業

事業の経過・背景・課題

町立小中学校に在籍する教員で発達相談や知能検査WISC-IVを実施できる人材が、1名しかいないため、新規相談時及び特別支援学級に在籍する児童生徒に対して、実施できる回数に制約があり、実態に即した学校現場での対応が出来ず、検査の待機児童が出ている。

これを解消するために、学校現場や保護者からは町単独での有資格者の確保の強い要望があがっている。

取組内容

交付実績額： 243 千円

- ・町立小中学校に在籍する児童生徒が必要とする発達検査・発達相談の実施に向け、新たに有資格者を確保し、これまで検査に要した期間の短縮を図ることで、早期に児童生徒一人一人に応じた適切な就学支援や教育的支援につなげる
- ・「新版K式発達検査2020」の検査器具を新規購入し、児童生徒の発達状況に応じた検査が実施できるようになったことによって、就学や教育的支援につなげる。



〔WISC-IV（ウィスク・フォー）〕

5歳0か月から16歳11か月の子どもを対象とし、世界的に広く利用されている代表的な知能検査のひとつ

〔新版K式発達検査〕

子どもの心身の発達状態を多面的に評価するための心理検査

1951年に京都市児童院で開発され、改訂を重ねて2020年に「新版K式発達検査2020」が刊行

事業の成果・今後の展望等

大山崎町立小・中学校が必要とする20名の生徒に発達検査を実施し、その検査結果を保護者と学校が共通理解することにより、児童生徒の就学や教育的支援の推進を図ることができた。

従来のWISC-IV検査器具に加え、令和6年度に「新版K式発達検査2020」の検査器具を新規購入したことで、児童生徒の発達状況に応じた検査が実施できるようになり、就学や教育的支援の一層の推進を目指す。

令和7年度は、検査員の更なる確保に努め、知能検査待機児童生徒数の更なる減少を目指し、児童生徒にとってより適切な就学支援に努める。

問い合わせ先

大山崎町教育委員会学校教育課（075-956-2101）